

各位

上場会社名 株式会社 昴  
 代表者 代表取締役社長 西村 道子  
 (コード番号 9778)  
 問合せ先責任者 経理部長 岩下 敏明  
 (TEL 099-227-9505)

## 特別損失の発生ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年2月期決算において特別損失を計上する見込みであります。また、最近の業績動向を踏まえ、平成22年10月1日に公表した平成23年2月期(平成22年3月1日～平成23年2月28日)の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,769	157	140	64	10.27
今回修正予想(B)	3,766	209	199	43	6.85
増減額(B-A)	△2	51	59	△21	
増減率(%)	△0.1	32.7	42.1	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年2月期)	3,785	221	194	194	30.93

#### ● 特別損失の発生およびその内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として教室を基本単位とし、また遊休資産等については物件単位毎にグルーピングしております。  
 このたび、将来キャッシュ・フローの見積りにおいて、一部の教室において生徒数が前年を下回ったことにより営業活動による損益がマイナスとなる見込みとなったことにより土地・建物等について、81百万円の減損損失を特別損失として計上する見込みであります。

#### 修正の理由

売上高におきましては、入学者数は各部門とも堅調に推移し、なかでも通常料金に比べ廉価な小学生を対象とする「キッズくらぶ」は基盤を拡大したものの生徒単価が低下したため2百万円減の3,766百万円となる見込みとなりました。  
 営業利益におきましては、人件費をはじめ経費の全体的なコスト削減を推進したことにより、51百万円増の209百万円となる見込みとなりました。  
 経常利益におきましては、同様の理由と支払利息の減少により59百万円増の199百万円となる見込みとなりました。  
 また、前述のとおり固定資産の減損に伴う特別損失を計上するため、当期純利益は前回予想を21百万円下回る見込みであります。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありません。

(注)上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上